

基本計画の主な取組	主な実施事業	所管	今後の方向性	指標の推移										
(２) あらゆる分野への男女共同参画の推進 ○市の各種審議会・委員会などにおける女性の登用促進及び実態調査の実施と女性登用率の公表（生活環境部男女共同参画課） ○男女共同参画セミナーの開催と地域活動の中核を担うリーダーの育成（生活環境部男女共同参画課） ○労働施策と連携し、育児・介護などの各種制度の周知と「ワーク・ライフ・バランス」の考え方の普及・啓発（生活環境部男女共同参画課）				市の審議会等における女性登用率						基準値(H30.4)		目標値(R10)		
										34.9%		45%		
				実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
					33.8%	33.8%	34.7%	35.4%	36.2%	35.3%				
	男女共同参画セミナー経費	生男女	縮小											
	(３) 男女が多様な生き方を選択できる環境づくり ○各種健康相談や母子保健の充実、健康教育の推進と疾病予防対策の充実、健康づくりの機会の提供（保健所健康増進課、こども未来部こども家庭課） ○多様なライフスタイルに対応した子育て支援、高齢者と家庭の状況に応じた介護サービスの充実（こども未来部子育て支援課、こども未来部こども家庭課、こども未来部放課後児童課、福祉保険部介護保険課、福祉保険部福祉総合相談室） ○高齢者や障がい者等の自立支援と生きがいづくり（福祉保険部福祉総合相談室）				男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると 感じている市民の割合（アンケート）						基準値(R1)		目標値(R10)	
				21.4%							基準値より増			
				実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
					21.4%	-	19.4%	-	14.8%	-	22.5%			

II 各部評価（各部による自己評価）

施策の進捗

- ・施策における取組については、おおむね事業化できている。
- ・事業化されていない取組についても、小施策(2)において、「市の審議会等における女性登用率の調査・公表」を毎年実施しているほか、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとするセミナーをR 6 年度に実施するなどの取組を行ってきた。
- ・女性相談事業に関して、利用者数は年々増加しており、市民に浸透してきているものと考えられる。

効果の発現状況

- ・各小施策における指標については、それぞれ基準値を下回ってはいないものの、大きな伸びは見られていない。
- ・小施策(3)の指標「男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると感じている市民の割合」は、R 5 の調査から7.7%と大きな増加を見せており、各取組が効果的なものとなっていると考えられる。

構成事業の妥当性

- ・小施策(1)～(3)の構成は、おおむね妥当なものと考えられるが、小施策(1)の取組「多様な性への理解促進のため、L G B T 等の性的マイノリティに対する正しい知識の周知啓発」については、パートナーシップ制度推進事業費として事業化し取組を行ってきたが、今後は男女共同参画推進事業費など他事業による周知啓発に組み込んでいくことにより取り組みを進めていく。

その他（必要に応じて記載）

今後の施策改善の方向性

- ・男女共同参画に関する意識は、少しずつ社会に浸透してきているものの、社会情勢の変化により課題は多様化していることから、社会のあらゆる分野に男女共同参画を推進する意識向上のための取組を進めていく。
- ・あらゆる暴力の根絶へ向け、関係機関との連携を強化し、安心して相談できる体制づくりに努めていく。



III 二役フィードバック

各部評価に対する意見等